

事後外部評価シート

1．調査研究課題名 マルチモーダルな交通計画の評価手法に関する研究 英国のアプローチ	
2．有識者意見の概要及び対応 慶應義塾大学大学院商学研究科 田邊 勝巳	
意見の概要	意見に対する対応状況
<p>1．報告書の表記及び和訳について</p> <p>交通地域省 (Department for Transport ,Local Government and the Regions (DTLR)) は、交通省 (Department for Transport (DfT)) へと再編されている。</p> <p>2．GOMMMS に対する評価</p> <p>評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通モード (道路と公共交通) の統合だけでなく、土地利用や交通需要管理、価格政策をも同時に考慮している点は、ハードだけでなくソフトも計画策定で織り込むこととなり、評価できる。 ・比較的早い段階で住民参加を手続きに含めている点については、計画の公開・情報提供、政策に対する住民の意見や移動パターンの収集といった役割を持つため、高く評価できる。 <p>評価できない点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済効率関連の総括表で環境 (や土地利用) に関して考慮されておらず、道路投資に対して高い優先順位をつけてしまうのではないか。環境の負の効果を金銭評価するのは難しいが、幾つかの方法は開発されている。 	<p>1．左記を踏まえ、報告書の該当箇所を修正した。</p> <p>2．評価できない点に関しては、我が国におけるモード横断的な施策への取り組みや分析・計画手法の導入に向けて議論を深める際に、更なる検討が必要と考えられる。</p>

事後外部評価シート

・政策判断に「公平性」を考慮するとあるが、自動車を持たない人、社会的に孤立してしまう人に対する配慮がヘイスティングスの事例では見られない。

3 . GOMMMS による施策に対する事後評価

事後評価はどのように実施されていくのかがよくわからない。
(例えば、需要(新規・移転)や費用が事前の予想結果と一致していたのか、想定外の問題が起こっていないか、また全体の計画の見直し(場合によっては中止)はどうするのかといった点)

3 .GOMMMS 自体は事前評価の仕組みについてマニュアルであるため事後評価の仕組みについて触れられていないが、今後 GOMMMS による施策の蓄積を待って、その事後評価についても理解を深めたい。